

一 宮 市 ・ 尾 西 市 ・ 木 曽 川 町

合 併 協 定 調 印 式

■日 時 平成16年8月9日（月）午前10時から

■会 場 一宮地場産業ファッションデザインセンター 1階展示ホール

式 次 第

- 1 開式の辞
- 2 経過報告
- 3 合併協定調印
- 4 主催者挨拶
- 5 来賓祝辞
- 6 閉式の辞

一宮市・尾西市・木曽川町合併協定調印式 参加者

(敬称略・順不同)

来 賓

愛 知 県 知 事	神 田 真 秋 (特別立会人)
衆 議 院 議 員	海 部 俊 樹 (代理 後藤敦志)
衆 議 院 議 員	江 崎 鐵 磨
衆 議 院 議 員	岡 本 充 功
愛 知 県 議 会 議 員	岩 村 進 次
愛 知 県 議 会 議 員	長 坂 康 正
愛 知 県 議 会 議 員	木 藤 俊 郎
愛 知 県 議 会 議 員	高 橋 正 子
愛 知 県 議 会 議 員	吉 田 真 人
愛 知 県 総 務 部 長	西 村 真

市長・町長

一 宮 市 長	谷 一 夫 (合併協議会会長)
尾 西 市 長	丹 羽 厚 詞 (合併協議会副会長)
木 曽 川 町 長	山 口 昭 雄 (合併協議会副会長)

市議会議員・町議会議員

一 宮 市 議 会 議 長	小 澤 達 弥
尾 西 市 議 会 議 長	浅 野 長 祥 (合併協議会委員)
木 曽 川 町 議 会 議 長	川 井 勇 (合併協議会委員)

立会人

合 併 協 議 会 委 員	神 戸 秀 雄
合 併 協 議 会 委 員	吉 田 勇 吉
合 併 協 議 会 委 員	木 村 貞 雄
合 併 協 議 会 委 員	梶 田 信 三
合 併 協 議 会 委 員	足 立 統 三
合 併 協 議 会 委 員	時 田 晴 彦
合 併 協 議 会 委 員	天 野 彰
合 併 協 議 会 委 員	川 合 正 高
合 併 協 議 会 委 員	井 浪 清
合 併 協 議 会 委 員	日 比 野 友 治

合併協議会委員	豊	島	半	七
合併協議会委員	常	川	雄	次
合併協議会委員	枋	倉		勲
合併協議会委員	大	島	千	恵子
合併協議会委員	佐	野	豪	男
合併協議会委員	吉	田		弘
合併協議会委員	宮	田		肇
合併協議会委員	上	田	芳	敬
合併協議会委員	青	木	隆	子
合併協議会委員	中	島	路	可
合併協議会委員	橋	本	照	夫
合併協議会委員	五	藤	和	吾
合併協議会委員	葛	谷	昭	吾
合併協議会委員	五	藤	久	佳
合併協議会委員	杉	本	尚	美
合併協議会委員	不	破	孝	彦
合併協議会委員	松	村	真	早美
合併協議会委員	神	藤	浩	明
合併協議会委員	加	藤	勝	也

助役

一宮市助役	山	口	善	司
一宮市助役	井	辺	國	夫
尾西市助役	山	内	勝	美
木曽川町助役	永	井	貴	光

合併協議会監査委員

一宮市代表監査委員	木	村	謙	一
尾西市代表監査委員	臼	井	孝	嘉
木曽川町代表監査委員	安	田	照	政

招待者

一宮市議会議員・町会長代表者
 尾西市議会議員・区長
 木曽川町議会議員・区長

【 開 式 】

○司会

皆様、お待たせいたしました。ただいまより「一宮市・尾西市・木曽川町合併協定調印式」を開催いたします。

私は本日の進行を務めさせていただきます、江崎あずみと申します。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、尾西市助役、山内勝美より開式の言葉を申し上げます。

【 開式の辞 】

○山内尾西市助役

ただいまより、「一宮市・尾西市・木曽川町合併協定調印式」を開会いたします。

【 経過報告 】

○司会

続きまして、本日の調印式に至る経緯につきまして、一宮市助役、山口善司よりご報告申し上げます。

○山口一宮市助役

一宮市助役の山口でございます。ただいま、司会からも話がございましたように、私からは本日の合併調印式に至るまでの合併協議の経過につきまして、簡単にご報告させていただきます。お手元の式次第でございます「合併協定調印までの経過」をご覧ください。

平成 15 年 1 月 14 日に、この協議会の前身であります任意の協議会、合併検討協議会を設置し、この合併協議がスタートいたしました。平成 15 年 5 月 28 日までに計 5 回の会議を開催いたしました。そして、平成 15 年 6 月議会におきまして、それぞれの市町で法定協議会設置の議決をいただき、7 月 2 日に法定協議会を設置いたしました。8 月 8 日の第 1 回協議会を皮切りに、本日の調印式に至るまで、協議会は 10 回、5 つの小委員会は延べ 40 回開催いたしました。

当然のことながら、さまざまな項目で委員の皆様方からいろいろな意見が出され、熱心に議論を尽くしていただきましたが、終始一貫「対等の精神」のもとで話し合いが行われ、別途お配りいたしております「合併協定書」にございます 24 項目すべての合併協定項目について合意がなされました。この間、合併協議会だよりの発行、ホームページの運用など、住民の皆様方へ協議内容をお知らせし、昨年 11 月から 12 月にかけてシンポジウム、本年の 1 月から 2 月にかけての住民説明会、同じく本年 2 月の住民アンケート等を実施し、合併に向けた機運の醸成と議論の喚起に取り組んでまいりました。

なお、尾西市では、本年 2 月 29 日に、木曽川町では先月 25 日に、合併の是非を問う住民投票が実施されまして、両市町とも賛成をいただき、本日の調印式の運びとなりました。

以上、合併に関する協議の経過の説明とさせていただきます。どうもありがとうございました。

【 合併協定書署名 】

○司会

それでは、ただいまより合併協定書への署名に移ります。一宮市長、尾西市長、木曽川町長、どうぞ正面の署名席へとお進みくださいませ。

それでは、ご署名をお願いいたします。

(一宮市長、尾西市長、木曽川町長、署名)

○司会

続きまして、特別立会人といたしまして、愛知県知事、神田真秋様にご署名をお願いいたしますと存じます。どうぞ署名席へお願いいたします。

(愛知県知事、特別立会人署名)

○司会

ありがとうございました。

本日、ここに一宮市・尾西市・木曽川町の合併協定が結ばれました。

それでは、愛知県知事より、一宮市長、尾西市長、木曽川町長へ合併協定書をお渡しいただきしたいと思います。

(一宮市長、尾西市長、木曽川町長、合併協定書受領)

○司会

それでは、一宮市長、尾西市長、木曽川町長、そして神田知事様には固い握手を行っていただきたいと思います。

それでは、お願いしたいと思います。

(握手)

○司会

4人の固い握手によりまして、その証がより確実なものとなりました。

どうもありがとうございました。

【 主催者あいさつ 】

○司会

それでは、続きまして主催者であります、一宮・尾西両市長及び木曽川町長よりお礼のごあいさつを申し上げます。

初めに、谷一夫一宮市長、お願いいたします。

○谷一宮市長

本日は、大変暑い中、またご多用の中、多数合併調印式にご参集いただきまして、誠にありがとうございました。神田愛知県知事様をはじめ、国会、県議会、市議会、町議会の先生方、そしてまた2市1町を代表するお立場の皆様方にご臨席賜って、ただいま協定書に署名をさせていただきました。私も合併協議会の会長という大変な重役を承りましたので、本当にこの1年間緊張して過ごしてまいりましたが、今は一言で申し上げれば、ほっとしたというのが正直な心境でございます。

先ほど、山口助役からご報告申し上げましたとおり、1年間、本当に委員の皆様方には

真剣にご協議を賜りました。１年の間にはかなり厳しい局面もあったわけですが、皆様方の良識のおかげで、何とか協議が調うところまで来たわけですが、本当にありがたく思っております。

もちろん、これで終わりではございません。これが始まりでございまして、これから新しいまちづくりに向けて、また皆様方のお考えをお聞きしながら、総力を結集していかなければいけないわけですが、その責任の重大さに身の引き締まる思いがいたしております。

９月議会では、それぞれの議会に、ただいま協定書に署名したものを持ってご提案をさせていただきます。どうか十分ご審議の上、肅々とご議決をいただきたいと心から念願をするものでございます。

最後になりましたけれども、この協議会、委員の皆様方のご努力はもちろんですが、２市１町の職員の皆さんが、大変膨大な作業を一所懸命やってくれました。私ども２市１町、常々お隣同士でございまして、広域行政にもさまざまに取り組んでおりまして、ある程度お互いのことは知っていると思っておりましたけれども、いざ合併協議ということになって、洗いざらいさらけ出して話を進める中で、意外とお互いのことを知らなかったのだなということに、まず気がついたわけですが、そこから合併協議がスタートしたような気がいたしておりますが、そんな中でそれぞれの市町の職員の皆さん、本当に一所懸命膨大な作業をこなしていただきました。職員の皆さんにも感謝をしたいと思います。

それから、また協議会の裏方となってこの議事を支えていただいた協議会の職員の皆様方、県からも優秀な方を派遣していただきまして、また２市１町からもそれぞれ優秀な職員の方においでいただきまして、大変これまた膨大な作業をしっかりと行っていただきました。こういった皆様方のお助けがなければ、この協議はできなかったわけですが、皆様方のご努力に心から感謝を表したいと思います。

改めて、本日ご臨席の議会の皆様方に、９月議会でのご議決を心からお願いいたしまして、お礼のごあいさつにしたいと思います。今日は誠にありがとうございました。

○司会

ありがとうございました。

続きまして、丹羽厚詞尾西市長、お願いいたします。

○丹羽尾西市長

改めまして、皆様おはようございます。また、今回２市１町の合併協定書の調印式、このように迎えることができまして、本当に皆様方に感謝申し上げるとともに、非常に感慨深いものがございます。

尾西市といたしましては、この合併に対する意義、この時代における必要性、そして可能性というものを主張しながらも、この尾西市がなくなることに対する寂しさ、あるいは尾西市を今までつくってきていただいた先人の思い、そういったことを考えますと、生半可に天秤にかけることはできませんでした。その上で、やはりこのまちの将来を決めるの

は、市民一人一人がしっかりと考えていただいて決定していただきたい、そういった思いで、当初から住民投票でこの合併については決定をしていくということをさせていただきました。ご存じのように、開票の結果7割以上の方が合併に賛成ということで、今回、こうやって無事調印式を迎えることができるわけですが、ただ、この合併協議については、今、谷会長からもお話がありましたように、決してゴールではございません。協議そのものは、まさにこれからがスタートなのであります。

基本方針であります「安心」「元気」「協働」この3つを例に取り上げましても、まず「安心」、これはこれから迫りくる少子高齢化といったものに対する福祉サービスの維持ができるかどうか、そういった不安に対して行政がスケールメリットにおける効率化を図る、人件費の削減を行っていく、そういったことだけではなくて、この合併を機に行政改革を行い、断固とした形でこの自治体全体を効率化していく、そういった願いは大きく残っているわけでございます。

また、「元気」ということに関しましても、国が用意していただいております特例債等を利用してのまちづくり、こういったものは今回の新市建設計画にも挙げられておりますけれども、このまち、新生「一宮市」全体の総合計画、これはまさに今から皆様方とともに作り上げていくものでございます。そういった中でも、地域再生を目指して、皆さん方の思いを存分に入れていただいて、この尾張地区の代表都市として発展を目指していくべきでないかと思うわけでございます。

そして、最後に「協働」であります。これはまさに新しい市の市民となって、今までそれぞれの市町、馴染み深い地域活動を行っていただいた市民の皆様方が、一つに大きくなってしまったから疎遠になるのでは決してなく、今までどおりしっかりと地域活動、あるいは市民活動にご協力いただき、また新たなNPO、いろいろな市民団体を結成していただき、大きな心で皆様方、これも一丸となって、この地域活性に、再生に取り組んでいただきたい、そういった思い、願いがまだまだたくさんあるわけございまして、そういったことを改めましてこの場をお借りしてお願いいたしまして、お礼のあいさつとさせていただきます。

最後になりましたが、県知事、国会議員をはじめとすご来賓の皆様方、大所高所からいろいろとご協力・ご理解をいただいておりますことを、まずもって御礼申し上げますとともに、これからもどうかこの新生「一宮市」をよろしくお願いいたしまして、簡単ではございますがあいさつとさせていただきます。本日はありがとうございました。

○司会

ありがとうございました。

続きまして、山口昭雄木曾川町長、お願いいたします。

○山口木曾川町長

さまざまな思いを残しながらも合併協議が調い、私も今、しっかりと署名をさせていただきました。これもここにお集まりの大勢の皆様のご理解のたまものと心から感謝を申し上げます。

この調印式、木曽川町においては大変ハードな局面を乗り越えてきましただけに、私としては大変感慨深いものがございます。この住民投票に滲み出ました木曽川町民の合併への不安、これを今後いかに解消していくかが私の残された課題であると思っております。少しずつ責任を果たしていくつもりであります。一番の特効薬は編入する側の一宮市の皆さんが、この合併に改めて大きな関心と意欲を示していただくことであると思っております。

その昔、星のかけらが地球に衝突して、恐竜を滅ぼしたと言われております。私は、この合併は尾張西部の地域に新たなエネルギーを生み出すものでなければ、本当に意義のあるものとはなっていないのではないかと、今なお心配しているところであります。ただし、3つのまちのエネルギーが、これからますます高揚して、必ずや新しい都市の建設に向かっていくというふうにも確信しております。

神田知事さんに見守られながら、この日の喜びが来年の4月1日まで真っすぐにつながっていきますように、心から祈念をしてお礼の言葉といたします。ありがとうございました。

○司会

ありがとうございました。

【 来賓紹介 】

○司会

ここで、本日、ご多忙の中ご臨席いただいております、ご来賓の皆様方をご紹介申し上げます。

愛知県知事、神田真秋様。衆議院議員、江崎鐵磨様。同じく衆議院議員、岡本充功様。同じく衆議院議員、海部俊樹様。なお、海部俊樹様はほかの公務のため、本日は秘書の後藤敦志様にご出席を賜っております。

続きまして、愛知県議会議員、岩村進次様。同じく県議会議員、長坂康正様。同じく県議会議員、木藤俊郎様。同じく県議会議員、高橋正子様。同じく県議会議員、吉田真人様。愛知県総務部長、西村眞様。以上の皆様でございます。本日は誠にありがとうございます。

【 来賓祝辞 】

○司会

それでは、本日、ご臨席いただいておりますご来賓の皆様を代表していただきまして、初めに愛知県知事、神田真秋様からご祝辞を頂戴いたしたいと存じます。

○神田愛知県知事

皆様、おはようございます。ファッションデザインセンターのこの会場は、私、大変なれ親しんでいる場所でありまして、今日は緊張感が走っておりまして、身の引き締まる思いでございます。それでは、お祝いを申し上げたいと存じます。

本日、ここに一宮市・尾西市及び木曽川町の合併に関するすべての協議が調い、合併協定書の調印がこうしてとり行われましたことを心からお祝いを申し上げたいと存じます。この地域の皆様方が、これまでにさまざまな課題を克服され、本日の調印式を迎えられた

わけでございます。関係の皆様方の感慨はひとしおであろうと拝察を申し上げるところでございます。一宮市長さん、尾西市長さん、木曽川町長さん、そして各市町の議会議員の皆様方をはじめ、関係者の方々の地域の将来を見据えたご努力に深く敬意を表する次第であります。

ご承知のとおり、県内の多くの地域で大詰め of 合併協議が現在進められておりますが、先の6月にはお隣の稲沢市・祖父江町及び平和町の地域が、そして本日はこの地域が相次いで合併協定の調印をなされたわけでございます。昨年の8月に田原市が誕生して以来、これは大変待望久しかったわけでございますが、協議を続けております他の地域にとりましても、今回の調印が大きな励みになるものとする次第であります。

さて、21世紀を迎え、少子高齢化の進展、環境問題等の新たな行政課題の顕在化、国・地方を通じた大変厳しい財政状況など、市町村を取り巻く環境は大きく変化いたしております。そうした状況下におきまして、市町村合併は行財政基盤を強化し、新たな行政ニーズに対応するための有力な手段として、全国で急速に進展いたしております。このような中、日常生活におきまして、産業経済におきまして、強い結びつきを有するこの地域では、市町の境界を越えた活動が活発に展開されているとのことであります。私自身、かつて一宮市長を務めた者として、この2市1町のつながりの深さを強く意識していたところでございます。

さらに近年は、東海北陸自動車道の整備などによりまして、国土幹線の要としての優位性、広域交通の拠点性がいよいよ高まっておりまして、今後、さらなる発展が大いに期待されているところであります。また、木曽の清流に育まれた豊かな自然環境には、広域的なレクリエーション空間としても大きな期待が地域住民から寄せられております。こうした地域特性を踏まえ、新しい市の将来像として掲げられました「木曽の清流に映え、心ふれあう躍動都市一宮」を目指して、2市1町がこれまで培われてこられました市町の個性を引き継ぎながら、新市が尾張西部地域の中核都市として、今後さらなる発展を遂げられることを、私どもも切に祈っているところであります。本県といたしましても、今後の新市の建設には積極的にご協力を申し上げていきたいと改めて皆様方にお約束したいと存じます。

最後になりましたが、来年4月、めでたく新一宮市が誕生いたしますことを、また本日もご参会の皆様方の今後一層のご健勝とご発展と弥栄を心からお祈り申し上げまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。おめでとうございます。

○司会

ありがとうございました。

続きまして、衆議院議員、江崎鐵磨様よりご祝辞を頂戴いたしたいと存じます。

○江崎衆議院議員

皆さん、おはようございます。2市1町にとりまして、まさに歴史的な意義ある今日の合併協定調印式、何よりもかつて一宮の市長を務めた神田知事が特別立会人としての調印式であります。傍らから拝見しておりまして、いよいよ中央集権から地方分権の時代、行

政の効率化、今日おそろいいただきました皆様がスクラムを組んで、この地域の活性化にお務めいただく時代に入ったなといった思いを持った次第であります。

特にこの合併に当たっては、谷市長、丹羽市長、そして山口町長、どれほどご苦勞されたか、行政側も大変なお骨折りであります。そして特に今日は2市1町それぞれ議員の皆様方にお出かけいただいておりますが、議会にあつては、それぞれ住民の皆さんに対して、いろいろ説明をされての今日の日を迎えましたことを、それぞれおそろいの皆様方に心から敬意と感謝を申し上げる次第であります。

神田知事からお話がありましたように、新生一宮、やはり尾西市の今日までの特色・持ち味、そして木曽川町の持ち味や個性、そうしたものがしっかり生かされながらの、私は合併でなければならないといった強い気持ちを持つ次第であります。私どもも国にあつて、必ず皆様方のこのご苦勞が、しっかりこれから手堅くこの地域の活性化に一步一步進まれるときに、後方からしっかり支援させていただくことをこの場をもってお約束しながら、今日の調印式、改めて心からお祝い申し上げまして、ご祝辞とさせていただきます。本当に皆様方、おめでとうございました。

○司会

ありがとうございました。

続きまして、衆議院議員、岡本充功様よりご祝辞を頂戴いたしたいと存じます。

○岡本衆議院議員

おはようございます。本日は一宮市・尾西市・木曽川町の合併協定調印式、誠に開催おめでとうございます。神田知事ご臨席のもと、この合併協定調印式が盛大にとり行われておりますことをお祝い申し上げさせていただきますとともに、この調印式に至るまでに大変なご苦勞をされました谷市長、そして丹羽市長、山口町長、このお三方をはじめ、各市町においてご尽力をされてこられました議会議員の皆様方、そして地域を代表し、合併協議会等を通じて大変なご苦勞をされてこられました皆様方に、改めて高い席からではございますが敬意を述べさせていただきます。本当にご苦勞様でございました。

さて、この合併調印を経て、いよいよ4月1日から新しい一宮市ができる、この道筋がはっきり見えてきたわけでございます。地方分権の時代、こういった時代を目前に控えて、それぞれの地域での特性を生かした新しい地方自治が始まるのだ、こういった一つの大きな転機になるこの日だと思っております。

私も、皆様方はご存じかもしれませんが、一宮市の職員であつたことがあります。一宮市で勤めさせていただいたときに、この2市1町のかかわり合いが大変深いことをよく存じておりました。そういった関係でこの新しい市が、今後の、この尾張地方のリーダーとして、そしてまた愛知県における中核の市の一つとしての個性を、そして立場を発揮されますことを強く祈念申し上げ、そしてまたご臨席賜っております皆様方のご健勝をお祈り申し上げまして、大変短いですが、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

○司会

ありがとうございました。

続きまして、愛知県議会議員を代表していただきまして、岩村進次様よりご祝辞を頂戴いたしたいと存じます。

○岩村愛知県議会議員

どうも皆様、おはようございます。ご覧いただいたとおり、年が私が一番上でございまして、お許しをいただいて一言ごあいさつ申し上げます。

谷市長さん、丹羽市長さん、山口町長さん、そしてそれぞれかかわった議会の皆さんや委員の皆さん、本当にお疲れさまでございます。

神田知事、先ほどお話にありませんでしたが、東京の麻生総務大臣というのは、愛知県にはなかなか厳しい方でございまして、合併が進まないと愛知をまた厳しく批判なさるのかなと心配を実はしておりました。そんな中で、市長当時から一番心があるこの一宮市と、お隣の尾西市・木曽川町、これが一つのまちになってできあがるということに、多分神田知事自身は、今、一番ほっとしているとともに、これからのまちづくりに県がかかわっていくいろいろな事業があります。先ほど、お話を承ると、「たくさんあったのですが、尾張事務所長の方で削られたのかな」と聞いたら、尾張事務所長、「頑張ってやります」ということです。ですから心配はないと思いますが、議会人の私たちは、これ以上のものを仕上げて、そして迎えた4月1日、その後のまちづくりの中で、あのときよかったと言われるように頑張っていきます。

そしてできれば、東名、名神を見ても、西の玄関口はこれで間違いなく私どもの地元。北を見たとき、東海北陸自動車道、これも私どもの地元。この2つの玄関口をより一層日本国中にアピールできる中心地ですから、県の中で私たちはそれを高め、そして整備すべきことは早急に整備をして、どこにも負けない愛知の誇りある新生一宮としていきたい、そんな思いで頑張っていきますので、皆様方のご協力を心からお願い申し上げます、お祝いのごあいさつとさせていただきます。おめでとうございました。

○司会

ありがとうございました。

【 祝電披露 】

○司会

なお、本日ご来賓としてご出席をお願いいたしておりました衆議院議員の海部俊樹様におかれましては、秘書の後藤様にご出席いただいておりますが、祝電を頂戴いたしましたのでご披露させていただきます。

「一宮市・尾西市・木曽川町合併協定調印式のご盛会をお祝い申し上げますとともに、正式合併に向けての大きな希望の光が輝くことを祈念いたします。」

そして、もう一通頂戴いたしておりますので、ご披露させていただきます。日本政策投資銀行東海支店長、小笠原朗様より頂戴いたしております。

「本日の合併協定調印式を心からお祝い申し上げます。新生一宮市のますますのご隆盛を祈念いたします。」

以上、祝電をご披露させていただきました。ありがとうございました。

【 閉式の辞 】

○司会

それでは、木曽川町助役、永井貴光より閉式の言葉を申し上げます。

○永井木曽川町助役

以上をもちまして、「一宮市・尾西市・木曽川町合併協定調印式」を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。

【 閉式 】

○司会

皆様、本日はご多忙の中ご臨席を賜りまして、誠にありがとうございました。

午前 1 0 時 4 5 分 閉会